

笑顔とぬくもりを大切に 寄り添いながら その人らしい暮らしを支えます

グループホームかたぎはら 広報誌

きらり★かたぎはら

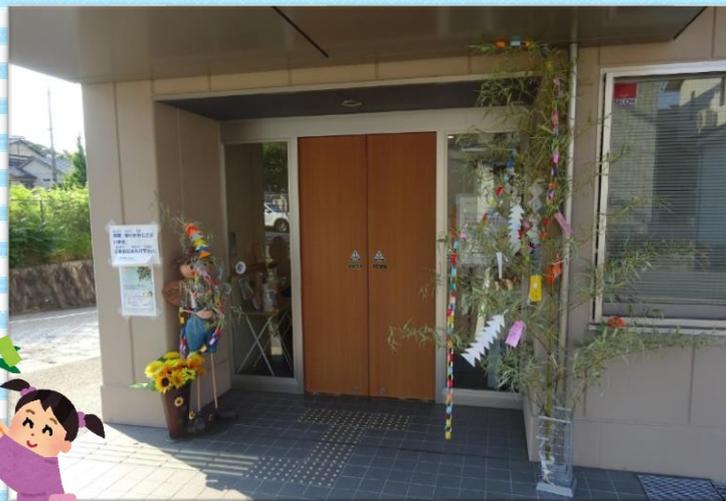


NO.8

令和4年
夏号

〒615-8156 京都市西京区榎原百々ヶ池 31-18 西京ふれあい地域福祉センター内
TEL (075) 393-2201 Fax (075) 393-2225

地域の皆様、ご協力
ありがとうございました



七夕飾り

今年の七夕は願いを書いた短冊や飾りをご近所の方にも自由に飾り付けしていただこうと施設玄関に笹を設置しました。色とりどりの願いが込められた短冊のおかげで、華やかな七夕飾りになりました。



みんなで飾ろう！七夕

願いが叶います様に



願いが書けるうちわ

七夕飾りをさせていただいた方に「うちわ」をプレゼント。このうちわは入居者の皆様で装飾しました。



短冊に書かれた願い事

七夕飾りに付けられた短冊の一部を紹介します。子供から大人まで幅広い世代の願い事です...

「世代問わずに集えて学びあえる場を作りたい」「かたぎはらのみなさんが明るく元気な毎日が送れますように」「そろばんのテストで満点とれますように」「足がなおりますように」





ご近所の皆様がやってきた！



子供たちや消防署の職員さんが願い事を書きに来てくれました。



研修日記

6月17日 内部研修「認知症」



認知症のケアにおいて「その方らしさを知る」「認知症の知識を深める」ことが大切です。今回の研修では、以前から学び進めていたセンター方式シート（ケアに携わる人が協力し実践し続けられるような統一されたケアマネジメント法）を用いました。表面的なことだけに目を向けるのではなく、しっかりと耳も傾け真意に気付くことの重要性を再確認し、その人らしいあり方とはどういうものなのか考える良い機会になりました。

携わる人が協力し実践し続けられるような統一されたケアマネジメント法）を用いました。表面的なことだけに目を向けるのではなく、しっかりと耳も傾け真意に気付く

ことの重要性を再確認し、その人らしいあり方とはどういうものなのか考える良い機会になりました。



↓ 7月7日の七夕の次の日には… ↓

近くのお寺さんで七夕飾りを持って行き御祈禱をしていただきました。入居者様も同行され、一緒に皆様が書かれた短冊の願いが叶うようお参りました。



お知らせ

施設での入居者様の様子をもっと知っていただくとして新たに「ちよこつと きらりかたぎはら」を発行しました。グループホームかたぎはらのホームページ内【お知らせ】からご覧ください。

編集後記

今号では、7月に行った「笹飾り」を特集として作りました。この行事は春以降にコロナの状況が一旦落ち着いたこともあり、もっともっと当施設を知って頂こうと地域の方にも呼びかけた取り組みです。近所のお子様たちが誘い合ったのかわかりませんが、自転車に乗り施設玄関に来られ七夕飾りをしている様子を見た時には思わずほっこりしました。今後も地域とのつながりを大切にしたい行事ができますように。（短冊の願い事）

広報担当：茅原

かたぎはらケアプランセンター

「介護でお困りになっていること
ございませんか？」

私たちケアマネジャーがご相談させて頂き、介護保険サービス利用等のお手伝いをさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

「西京ふれあい地域福祉センター内（2F）
TEL (075) 393-2202
FAX (075) 393-2227